



鹿児島から世界へ!

株式会社池畠鉄工

平成26年度 補正予算事業

新型加工機導入による生産プロセスの強化・改善を図る計画

工事の要である条鋼材（鉄骨）の加工は、後の工程に大きく影響を及ぼす。従来型の条鋼材加工機は20年以上が経過し、加工能力等が限界にきている。そこで、新型機を導入し、生産プロセス自体の強化を図る。



新型条鋼加工機 CNCBW150

事業のきっかけや目的

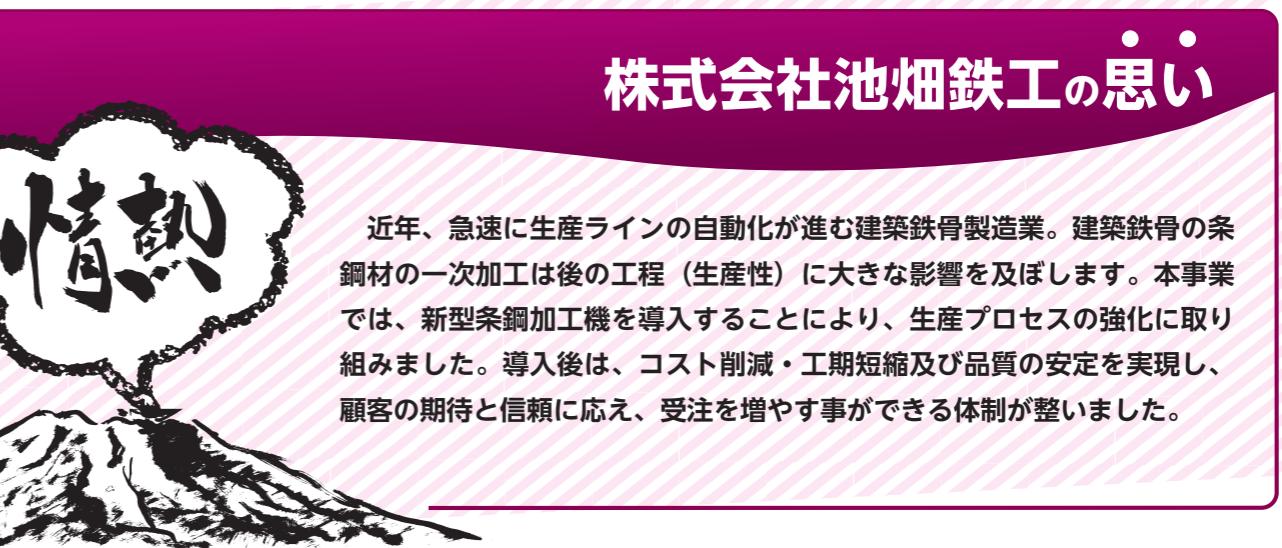
Motivation

既存機は残材が発生し、機械の消耗が著しいため、外注加工に頼っているが、効率が悪くコストがかかる。仕事の引き合いがあっても加工本数の多い場合や、熟練工が他物件を担当している場合は断ることもある。機械を更新して残材発生・残材溶接の解消、加工時間短縮を図り、顧客の要望に即座に対応し、同業他社が手がけていた大型物件も受注できる体制を整える。

事業の取り組み内容と成果

Progress

新型加工機を導入し、加工の100%内製化と加工ラインの見直しに取り組んだ。残材ロスの課題は解消され、コスト削減が実現。加工速度、データ入力、金型交換の課題についても生産能力は従来の1.5倍ほどに向上した。ケガキ、マーキングが自動化できたため、若手の社員にも任せられるようになり、ものづくりの奥深さや楽しさを実感してもらうことにつながった。



株式会社池畠鉄工の思い

近年、急速に生産ラインの自動化が進む建築鉄骨製造業。建築鉄骨の条鋼材の一次加工は後の工程（生産性）に大きな影響を及ぼします。本事業では、新型条鋼加工機を導入することにより、生産プロセスの強化に取り組みました。導入後は、コスト削減・工期短縮及び品質の安定を実現し、顧客の期待と信頼に応え、受注を増やす事ができる体制が整いました。



事業化に向けての今後の取り組み

Future

新型機導入後は条鋼材の一次加工の対応能力が改善されるので、加工本数の多い物件を積極的に受注したい。特にC型鋼やL型鋼を使用する太陽光パネルの架台加工や大型店舗その他物流倉庫等のこれまでにないボリュームの物件にも挑戦したい。本事業終了後は生産体制をさらに強化するため、溶接ロボットや自動ケガキロボット等の設備導入も検討している。今後は生産ラインの自動化を図り、これまでの建築鉄骨加工工場（鉄工所）の「3K」のイメージを変えていきたい。



企業の生い立ち

昭和46年8月設立。

「地域に密着した会社づくり」をモットーに出発した。当初は手摺や階段などの小物加工を手掛ける小さな町工場であったが、徐々に地域のお客様からの信頼も得て中小規模の建築鉄骨から小物加工まで手掛け、地域のみならず地域外にも幅広く鉄骨製造を行っている。



会社外観

事 業 者 株式会社池畠鉄工
代 表 者 代表取締役 池畠 悅
設立年月日 昭和46年8月
所 在 地 等 〒899-8212 鹿児島県鹿屋市旭原町2584-3
TEL 0994-43-4740
FAX 0994-43-6637
E-mail i-iron@soleil.ocn.ne.jp

事 業 の 類 型 ものづくり技術
資 本 金 額 1,000万円
従 業 員 26名
業 種 建築鉄骨製造業